

会議出席の報告

1. 宝塚市社会福祉協議会評議員会：令和5年度12月定例の報告（東）

- 12月26日、総合福祉センターにて開催された。
- 協議事項（1件）、報告事項（4件）。
- 協議事項は、令和6年度事業計画重点的取り組み案について、削除項目が新規継続事業よりも多く、以降の報告書から削除されていくのは、市民感覚からしても理解しがたい。
第七次地域福祉推進計画に基づいて、設定した重点的取り組むべき事業なので、住民市民に向けての進捗報告の情報発信が必要である。
むしろ、重点的に設定された取り組みは、進捗状況により変化していくもので、課題解消するまで、新たに重点的な取り組みを設定すべきもの。最終目標である“だれもが暮らしやすい地域”の実現に必要な取り組みは山積しているわけで、当該年度の設定目標に関わらず、前倒しで進めていく姿勢が必要では、と意見した。
- 報告事項では、中間事業報告について、「公益財団法人プラザコム事業継承検討委員会」について、「地域福祉活動推進委員会」について、社協会員募集及び共同募金運動の進捗状況について、があった。

2. 宝塚ボランティアプラザ zukavo 運営委員会：令和5年度第4回の報告（東）

- 2月2日、ぷらざこむ1の会議室にて開催された。
- 協議報告（1件）、報告事項（3件）。
- 協議事項では、令和6年度事業計画案について、重点的取り組み4つ案をもとに、意見交換を行った。
「災害ボランティアセンター運営に関するネットワークづくりをすすめる」取り組みでは、「民間事業者と zukavo、ボランティアグループ等とのつながりづくりをすすめる」取り組みの活動にある“フードドライブ”とを組み合わせ、企業の災害備蓄品を“ローリングストックの普及”と併せてネットワークづくりができれば、地域力・防災力アップにつながるのでは、と意見した。
また、能登半島地震が発生後、インフラ弱さ、防災基盤の弱さなど、過去の災害から学びを活かせていない状況が露呈したことを機会に、“宝塚市災害ボランティアセンター”のシステム（設置要綱など）見直しを提案した。災害時に他市の応援職員が即対応できるよう、常時よりボランティアセンター業務のプラットフォームの統合や地域性特性の見聞（共通理解）を蓄積したり、他市の社協やボラセンへの相互研修などを行なうことが、“災害ボラセン”運営のネットワークづくりでは、と意見した。

「ボランティア活動者に向けた、講座、交流の場を行なう」取り組みの、勤労世代に関心をもってもらう機会の案として、“初めてボランティア相談”の事業と組み合わせ、企業に出向き、対象者に興味を持ってもらえるテーマ設定をして開催する。例えば、“他市などで企業がボラタリ活動で地域貢献し、効果をあげている事例”では、経営者に対して企業側メリットを説明するなど。“初めてボランティア相談”を漫然と開催するのではなく、対象者を想定し併せたテーマ設定が必要では、と意見した。

“公式LINE”は、登録数の目標値が計画案にあるが、事業当初は費用無料だからでスタートしたものが、現在

は有料プラン年間6万円の費用対効果になっていない、「世代に応じたツールを活用し…情報を発信します」の取り組みにも関わらず、現状の市場分析が足りていない。インスタグラム、フェイスブック、WEB サイトも zukavo は開設しているが、いずれも中途半端感がある。新しいツールの活用するという発想は良いが、行動する際には、業務として携わるものなので、ノウハウ等を分析して、制度の高い計画して行わないと、結果は出ないのでは、と意見した。

- 報告事項では、活動助成金の申請状況や来年度の計画案についての報告提案、次年度の運営委員の選任では、任期満了者の報告があった。
- その他事項では、情報発信の改善が必要で、さまざまなツールで手広くするのも理解できるが、まずは一つを最大限活用に取り組んでみてはどうか。公式WEBサイトを充実させて、“zukavo 運営委員会”の会議録は過去分から閲覧できるようにすれば、動向を市民が把握でき、運営委員会に興味を持ってもらえるだけでなく、委員交代時にもスムーズに会議内容を把握できるのでは、と意見した。
- 次回開催は、2024年4~5月未定。

3. 補足：事例発表会：の報告（東）

- 2月2日18:00~20:00、総合福祉センターにて開催されたものを、ZOOM 視聴参加した。
- 実践報告の事例は、3件。最終審査形式で、最後に表彰があった。
 - もったいないをまちづくりに 赤い羽根共同募金 おもちゃの寄付を 再利用プロジェクト
企画人事課 地域福祉企画係（松原、赤坂、向山）
 - あくらふれあいフェスタの報告
安倉デイサービスセンター（柴崎、平松、藤井、岡田）
安倉西身体障害者支援センター（谷口裕 中野 櫻井）
 - せいかつ応援センターのひきこもり支援
総合相談支援課（藤森、市山、明賀、丸）